

あすなる

令和5年 2月22日
中津川市立川上小学校
学校だより 2月号

令和5年度＝コミュニティ・スクール元年

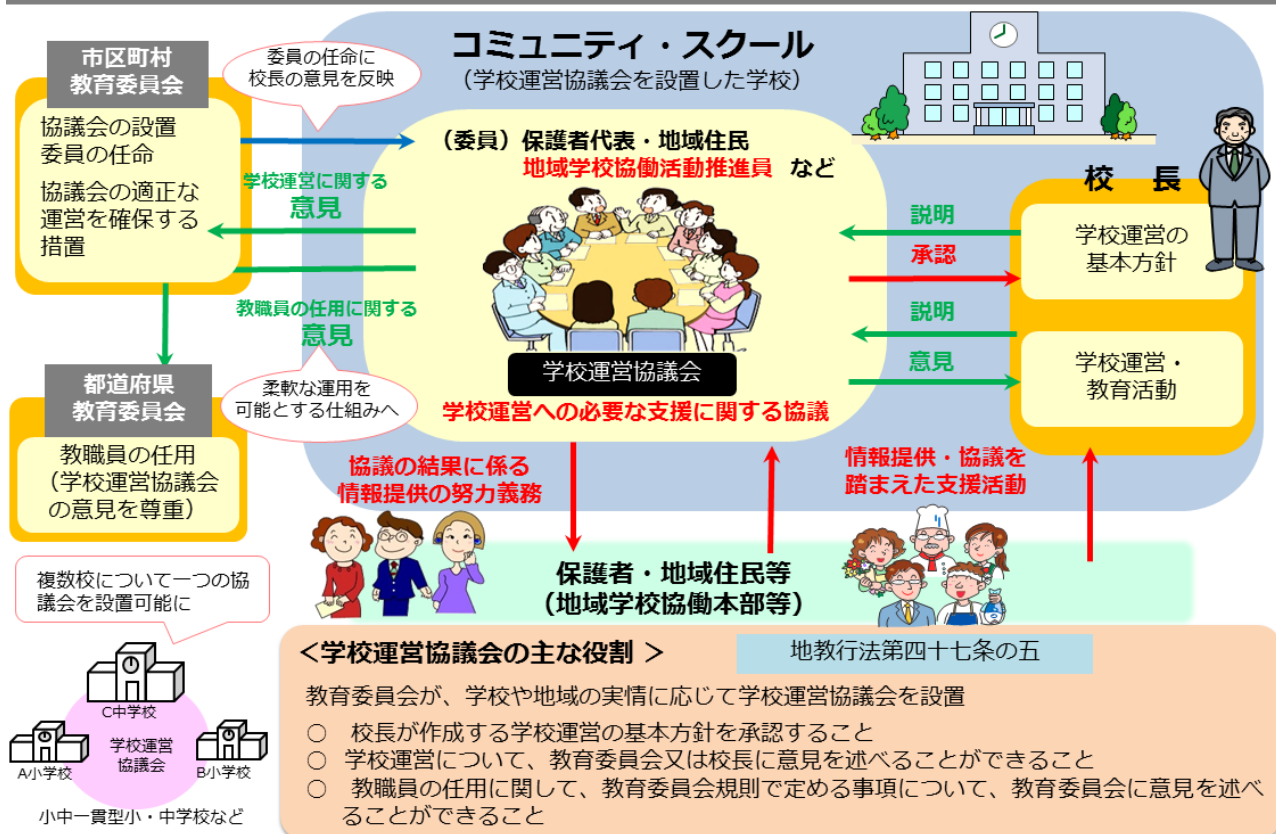
国は、学校のコミュニティ・スクール化を推し進めています。中津川市も、来年度からは全小中学校がコミュニティ・スクールとなります。もちろん川上小学校も例外ではありません。

コミュニティ・スクールとは、「学校運営協議会」を設置した学校を指します。来年度からは、これまでの「学校評議員会」に代わり「学校運営協議会」が設置されるわけです。「学校運営協議会」の役割について、文部科学省のホームページには次のような説明がみられます。

コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）は、学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校」への転換を図るための有効な仕組みです。コミュニティ・スクールでは、学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていくことができます。

法律（地教行法第47条の5）に基づいて教育委員会が学校に設置する学校運営協議会には、主な役割として、「校長が作成する学校運営の基本方針を承認する」「学校運営に関する意見を教育委員会又は校長に述べることができる」「教職員の任用に関して、教育委員会規則に定める事項について、教育委員会に意見を述べるができる」の3つがあります。

コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)の仕組み



文部科学省のホームページからは、コミュニティ・スクール化の趣旨が、学校教育に地域の力を生かすこと、そのために地域と学校との協働を強化することだと分かります。

ただ、川上小はこれまでも今も「**地域とともにある学校**」を目指してきました。11月に実施した「感謝の会・学習発表会」で“お世話になった地域の方”をあれだけ大勢招待できたこと自体、川上小の教育が地域との協働の上に成り立っていることを物語ります。コミュニティ・スクールとなる来年度も、地域との協働の中で、引き続き“ふるさと川上”を愛する子の育成に努めます。

学校は今、コミュニティ・スクール化に向けての諸準備を進めています。1月23日に実施した「学校評議員会・バケツ会」は、「学校運営協議会設立準備委員会」を兼ねました。「学校運営協議会」についてあらためて説明させていただき、その組織について等、皆さんのご意見をいただいた次第です。また、川上小の子が卒業後は坂下中学校に進学することを考えれば、今後、やさか小中学校それぞれの学校運営協議会が、相互にどう協力し合うかについても考えていく必要があるでしょう。来年度、川上小がコミュニティ・スクールとして力強く立ち上げられるよう、今後も準備を進めてまいります。

なお、1月23日の「学校評議員会・バケツ会」の中では、この日参観いただいた授業の感想や日頃感じていらっしゃるごととして、次のようなご意見・ご感想をいただきました。

- ・学童で見せる姿とはまた違った姿が見られた。少ない人数でよく頑張っている。
- ・少ない人数で精一杯、一生懸命やっている。同時に、大人数の中でもまれる必要も感じる。
- ・篠笛練習。一人一人が頑張る必要があるため、子どもたちは休む間もない。それが力になっている。
- ・校舎の老朽化は感じるものの、設備・施設はしっかりしている。
- ・少人数には少人数のメリットがある。デメリットとして語られる「大勢の前で話せない」といったことは気にしなくていいのではないかな。
- ・川上小には少人数指導のノウハウの蓄積がある。
- ・子どもたちは地域のことを分かり、想っている。他地区の方から「これだけ子どもたちが地域のことを想っているなんてなかなかないよ」と言ってもらった。
- ・子どもたちは人なつこい。読み聞かせで教室に入った際も、みんなが歓迎してくれる。
- ・学習発表会や運動会を見ていると、子どもたちは休む間もなく大変だが、全員が役割を与えられている点がすばらしい。まさに全員が主役。大きい所で萎縮しないかという心配はある。
- ・授業でICTが活用されていて感心した。
- ・防災講話をする際も、1～6年生までを対象とする難しさを感じる。複式授業についても、どこまで授業が成立するか心配な面もある。
- ・少人数で指導の徹底。塾に行かずとも一人一人面倒を見ていただける、それをメリットに感じる。
- ・団体スポーツができない点はかわいそうに思う。
- ・地域の皆さんの協力が厚い。
- ・リーダーを中心に、安全に気をつけながら登下校できていることに感心する。
- ・子どもへの対応は昔と比べ、ずいぶんと変わってきている。教師のストレスにならないか心配だ。
- ・複式授業では、子どもたちに学び方が身についている。
- ・田植え、草刈りを夢中になってやる姿がほほえましい。楽しく学んでくれている。

いつも温かく見守ってくださり、本当にありがとうございます。